



2011～2012 年度
国際ロータリー会長

カルヤン・パネルジー

Weekly Report Niigata



心の中をみつめよう
博愛を広げるために

2011～12 年度 国際ロータリーのテーマ



2011～2012 年度
新潟ロータリー会長

佐藤 紳一

新潟 RC 6月第1例会 (2012.6.5) No.2946

(1) 「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

(2) 佐藤 紳一会長挨拶

17年ぶり政権交代に沸くフランスで5月15日カンヌ映画祭が開幕しました。公式ポスターのモデルはマリリン・モンローです。没後50年を迎えるヤンキースのジョー・ディマジオと1954年2月に新婚旅行で日本を訪れ、宿泊した帝国ホテル周辺は大変な騒ぎだったといわれています。冥土に旅立ったのはその8年後、死因をめぐっては諸説過巻き今なおミステリアスである。存命であれば6月1日で86歳となり、女優の菅井きんさんと同じ年だそうです。彼女がピンヒールを履き、モンローウォークで歩くことを想像するとゾーっとする夢は夢としてとっておいたほうがよいのだと。ちなみにピンヒールはフェラガモだそうです。「帰らざる河」「お熱いのがお好き」とか多数ありますが、私的にはクラーク・ゲーブルと共演した「荒馬と女」が好きでした。

欧州でオオカミが増えているそうでこの20年間でフランス・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド・ドイツなど絶滅したと思われていた国で生息されています。今や29ヶ国に広がり、計2万頭前後に復活しています。オオカミは北半球のほとんどの地域に生息していましたが、19世紀～20世紀にかけて激減しました。家畜を襲うという理由で人間が駆除した影響が大きいとされています。日本では1905年以降確認されていません。欧州評議会は2005年にオオカミに関する報告ではトルコ5千～7千頭、ルーマニア4千頭、ブルガリア2千頭、スペイン2千頭、ギリシャ、イタリア、フランスも多くのオオカミにとって、国境に関係なく、今ではほとんどの国に存在することがわかります。オオカミの再導入では、米国のイエローストーン国立公園の例が有名です。シカ類が増えすぎたことで95・96年カナダから連れてきたオオカミを放しロッキー山脈北部全体で66頭を放し2008年には1645頭に増えました。オオカミ導入前は3万頭いたシカ類が10年後には2万5千頭になりました。それにより、森林への食害が減り生態系が豊かになったそうです。日本でのオオカミ導入については、反対論もありますが、日本オオカミ協会によると、「シカ類による森林の食害は深刻になる一方で、オオカミ復活を真剣に考えるべき」と話しているそうです。

6月はロータリー親睦活動月間です。

(3) 委員会報告

・金親 顯男親睦副委員長

6月26日は納会例会を開催します。7月24日は前橋RCの皆さんをお迎えし納涼例会を予定しております。近々、ご案内を送りますので、是非、ご出席下さい。

・宇尾野 隆次期幹事

本日、次年度予定表、予算表、委員会表を配布致しました。是非、ご協力くださいます様にお願ひ致します。

(4) 会員スピーチ

「リーマンショックから4年目を迎えて」

丸福証券(株)取締役会長 武宮健二郎 君

6月12日の例会予定

会員スピーチ「デパート裏話その2」

(株)新潟三越伊勢丹

代表取締役社長 鷹野 正明 君